

錦市場商店街ナイトミュージアム

「伊藤若冲とみずのき」

奇想の絵師 × アール・ブリュット美術館

2016.10.02(日) → 10.30(日)

@京都錦市場商店街



NIGHT MUSEUM @ THE NISHIKI MARKET
ITO JAKUCHU and MIZUNOKI
THE ECCENTRIC PAINTER X THE MUSEUM OF ART BRUT

*会場ライトアップ 19:00～22:00 *映像上映 10/2(日)～10/16(日) [一日2回上映 ①20:00 ②21:00]

入場無料

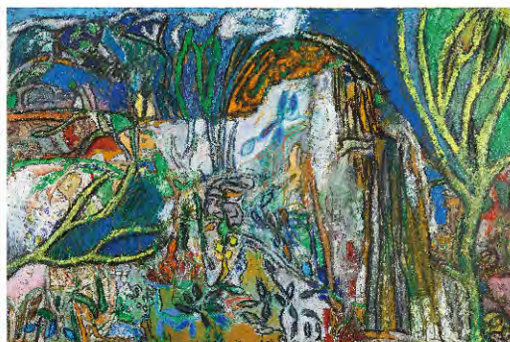
主催 京都錦市場商店街振興組合、特定非営利活動法人 京都文化協会 | 共催 みずのき美術館 | 協力 国立スミソニアン協会フリーア美術館、佐野市立吉澤記念美術館、静岡県立美術館、細見美術館、鹿苑寺 | 機材協力 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 | 後援 京都府、京都市、KBS 京都、京都新聞 | 助成 公益財団法人日本財団 | 映像制作 江村耕市(京都嵯峨芸術大学教授) | 映像監修 佐々木正子(京都嵯峨芸術大学教授)

※画像はイメージです。左から、伊藤若冲「樹花鳥獸図屏風」右隻/静岡県立美術館所蔵、小笹逸男「遊ぶ猫」/みずのき美術館所蔵、伊藤若冲「鶴図」/ワシントン・フリーア美術館所蔵





I T O J A K U C H U a n d M I Z U N O K I



錦市場商店街ナイトミュージアム

奇想の絵師・伊藤若冲。その作品は、ひときわ輝く個性から、近年ますます多くの人々を魅了しています。錦市場商店街では、京都錦の青物問屋に生まれた若冲の生誕 300 年を記念して、作品を店舗のシャッターに転写しライトアップを行う「錦市場商店街ナイトミュージアム」を開催します。今回、若冲の作品と共に錦市場を彩るのは、90 年代、日本のアール・ブリュットの草分け的存在として注目されたみずのきの作品達です。「生(き)の芸術」とも訳されるアール・ブリュットの存在は、真の芸術表現を探求する多くの芸術家や研究者を魅了してきました。伊藤若冲とみずのきの作者たち、時代も背景も異なりますが、命の瞬きを強く感じさせる作品であると共通していえるでしょう。卓越した観察眼をもって事物を捉えた若冲の作品は、動物から草木に至るまで、生命の喜びに満ちています。陽が落ちて、錦市場のシャッターが下りる頃・・・生命力を放つ彼らの世界が、夜の錦市場に浮かび上がります。

みずのき美術館

2012年、京都府亀岡市に開館したアール・ブリュット美術館。美術館名の由来ともなった障害者支援施設みずのきで、1964年より続く絵画教室で制作された絵画作品、約1万8000点を所蔵しています。所蔵作品の保存、研究、アール・ブリュットの考察の他、地域社会に開かれたプロジェクト型の展覧会やワークショップ、イベントを多数企画しています。

アール・ブリュットとは

アール・ブリュットとは、第二次世界大戦後、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフェによって提唱された言葉。「brut」とは「生の」という意味で、伝統的な美術教育を受けていない作り手による芸術性の優れた作品や芸術制作を意味します。後にイギリスでは「アウトサイダー・アート (outsider art)」と訳された他、アメリカでは「セルフトート・アート (self-taught art)」などとも呼ばれます。日本では、作品の発見が知的障害者施設を中心に展開され、独自の変遷をたどっています。

ナイトミュージアム開催内容

開催箇所：錦市場内の老舗47店舗
作品内容：伊藤若冲作品 約30作品 / みずのき美術館作品 15作品

「伊藤若冲とみずのき」映像上映

伊藤若冲とみずのき、それぞれの作品を題材にした映像を、錦市場商店街のアーケードに設けた6箇所のスクリーンに投影します。商店街ならではの空間を使った映像上映をお楽しみ下さい。

上映期間： 10/2(日) ~ 10/16(日) | 一日2回上映 ①20:00 ~ ②21:00 ~ | *上映時間は10分弱を予定

アクセス：錦市場商店街

- ・阪急京都線「烏丸」駅下車 徒歩3分
- ・阪急京都線「河原町」駅下車 徒歩4分
- ・京阪本線「四条」駅下車 徒歩10分

